

2025年
7月19日(土)
14:00-16:30(13:30開場)

毎日西部会館
5階①②③号室
(北九州市小倉北区紺屋町13番1号)

参加無料

高齢者、障害のある人、子どもを含め、すべての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を目指す北九州市。

本イベントでは、元厚生労働事務次官で、このたび、NPO法人抱樸の顧問に就任いただいた大島一博様と、北九州市長 武内和久様をお迎えして、北九州市の今後のまちづくりについて、「地域共生社会」をキーワードに考えていきます。

また、抱樸が推進する「希望のまちプロジェクト」について、どんな建物になるのか、そこに行けばどんな出会いがあるのか、各部門担当者が最新の進捗状況をご報告します。

登壇者

北九州市長

武内和久

×

元厚生労働
事務次官

大島一博

×

NPO法人抱樸
理事長

奥田志知

北九州市の「まちづくり」を考える
これからの地域共生社会と希望のまち

抱樸講演会

|主催| NPO法人抱樸 |後援| 北九州市

イベント内容

- ① NPO法人抱樸 顧問就任記念講演
大島一博 様(元厚生労働事務次官)
- ② 「希望のまちプロジェクト」進捗報告
職員・関係者より、リレー形式で各部門・施設の進捗状況をご報告
- ③ 鼎談「北九州市の“まちづくり”を考える
～これからの地域共生社会と希望のまち～」

登壇者

北九州市長 武内 和久 様
元厚生労働事務次官 大島 一博 様
NPO法人抱樸理事長 奥田 知志

希望のまちプロジェクトとは？



福岡県北九州市に、福祉機能を備えた建物をつくり、そこを拠点にコンセプトとしての「まち」を広げていきます。建物のテーマは「ごちゃまぜ」。1階には誰でも使える大きなホールや、レストラン、放課後等デイサービスなどを設け、地域の人が自由に集える場所に。2～3階は生活に困っている方々の暮らしの場となり、広い縁側も設けて自然な交流が生まれるようにします。子どもからご年配の方まで、用事があってもなくても気軽に立ち寄れ、「助けたり、助けられたり」する関係を育みながら、まち全体がゆるやかに「なんちゃって家族」のようにつながる”まちづくり”を目指します。

NPO法人抱樸とは？



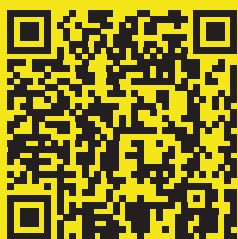
NPO法人抱樸は1988年から福岡県北九州市を拠点に、生活困窮者への支援を行う団体です。「ひとりの路上死も出さない」「ひとりでも多く、一日でも早く、路上からの脱出を」「ホームレスを生まない社会を創造する」の3つを使命としています。

当初は路上生活者へのおにぎり配布から始まりましたが、炊き出しや夜回りなどで出会った1人ひとりへの「個別支援」に特化した活動を展開。大切にしてきたのは「断らない」支援。36年以上の活動を続け、3,750人以上がホームレス状態から自立しました。

現在は、路上生活者支援に留まらず、子どもや家族への支援、居住支援、更生支援、サポート付き住居の提供など包括的な支援を構築し、1,000人以上を支援しています。出会いから看取りまで、孤立に苦しむ人々への継続的なサポートを行っています。

参加申込

客席準備のため、フォームへお申し込みいただけますと幸いです。
右記、お問い合わせ電話番号でも受け付けています。
※7月13日(日)まで
※事前申し込み無しでも、ご入場いただけます。



申し込みフォーム

お問い合わせ

NPO法人抱樸

電話 093-653-0779
(平日 9:00-17:00)

メール npo@houboku.net